

平成21年度  
生物多様性  
モデル事業

事業名： 手賀沼にかつての多様な水草を再生させよう

—手賀沼における埋土種子発芽による種の保全事業及び沈水植物再生事業—

団体名： 手賀沼にマシジミとガシャモクを復活させる会

## ☆ 目的

手賀沼はかつて水草の宝庫として昭和30年代までは20～30種が確認されていましたが、水質の悪化とともに昭和52年で全ての種(沈水&浮葉植物)が消滅してしまいました。平成19年の「手賀沼水草探検隊」では、流域においても現存する種数が少ないことが分かりました。そこで、かつての沼底の土の中に埋もれている種子を発芽再生させ、保全していきます。

## ☆ 内容

- ◎ 会員研究者の指導により、かつて埋土種子を発芽生育した実績のある地層から埋土種子を採取し、バットに撒き出し空気と光をあて発芽させています。
- ◎ 当会から手賀沼水環境保全協議会に提案し、水草保全の体制を整えるため、手賀沼親水広場や千葉県立中央博物館に大型水槽を設置しました。そこに今回発芽した種を提供します。
- ◎ 埋土種子から発芽育成した株は、市民の啓発の場としても計画されている千葉県親水広場ミニ手賀沼にも植栽します。

## ☆ 今後

今回採取した地層に含まれる種子は年代が古く、発芽率が悪いかもしれないとの指摘を受けました。発芽が思わしくないときは、掘削する場所を変えて、再度発芽実験を行います。

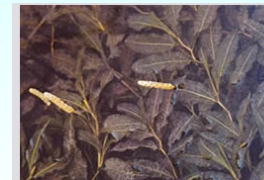


## ☆ 団体概要

過去27年間も全国湖沼水質ワースト1だった手賀沼は、2000年から利根川の水を入れ、水質は改善しました。しかし、水草・魚・二枚貝など生きものの種類も量も未だ再生していません。マシジミとガシャモクをシンボルとする手賀沼の生態系を復活させ、自然循環で手賀沼をよみがえらせたいと活動しています。

## ☆ 主な活動

- ◎ 平成 8年～ 手賀沼流域のマシジミ等生息調査
- ◎ 平成 9年～ 手賀沼の沈水植物の水槽飼育による保全
- ◎ 平成11年～ 手賀沼ピット-7° 沈水池の調査・管理
- ◎ 平成14年～ 国土交通省手賀川再生池・沈水植物植栽モニタリング実験協力
- ◎ 平成16年～ 手賀沼水環境保全協議会の水生植物再生検討委員会に参画、「手賀沼水草探検隊」を提案、市民参加で手賀沼流域の沈水植物生息状況の調査を実施
- ◎ 平成18年～ 我孫子市と協働で「ガシャモクの里親」事業



沈水性の希少種ガシャモク

## ☆ 問い合わせ

住所：〒277-0823 柏市布施新町4-13-13 代表者：竹中 真里子  
電話：090-6146-46355 Mail: takenaka-mariko@jcom.home.ne.jp  
URL: <http://ww.mashijimi.com/>